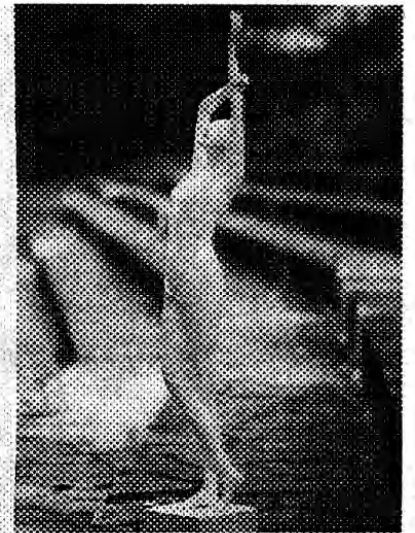


2006年(平成18年)10月11日 水曜日

気品あふれる日高さんの創作人形。中央が「風の径」



潮風、光、汽笛、潮の香テーマに

## 日高さん故郷で創作人形展

### あすから長府庭園

下関出身の創作人形作家、日高朋子さん(茨城県日立市)が、二十七日に長府庭園のギャラリー蔵、十一月十四―二十日に旧英国領事館で個展を開く。長府庭園は午前九時半―午後四時半だが、初日だけは正午から開催。下関の潮風、光、汽笛や潮の香を人形に込め、「風・音・光…そして香り」のテーマで創作人形を並べる。

日高さんは旧姓国方さん。梅光中学、下関西高を卒業。下関を離れてから約三十年。未婚の娘さんが今春大学に進学したのを機に、「私自身の心の原点を見つめ直し、これからの方向性をつかむために、実家のある下関で個展開催を決めた」と言う。

日高さんの手掛ける人形はすべて女性。「内面の美しさの表現」を模索し、「地域を超えて、時代に流されない『今』をしっかりと見つめる女性像を表現した」と話している。受賞歴も多く、二〇〇三年の作品「風の径」はオメガ時計のイメージキャラクターに採用された。